

アーランド サービス 株式会社



平成26年12月期 決算説明会

証券コード : 3085

平成27年2月6日

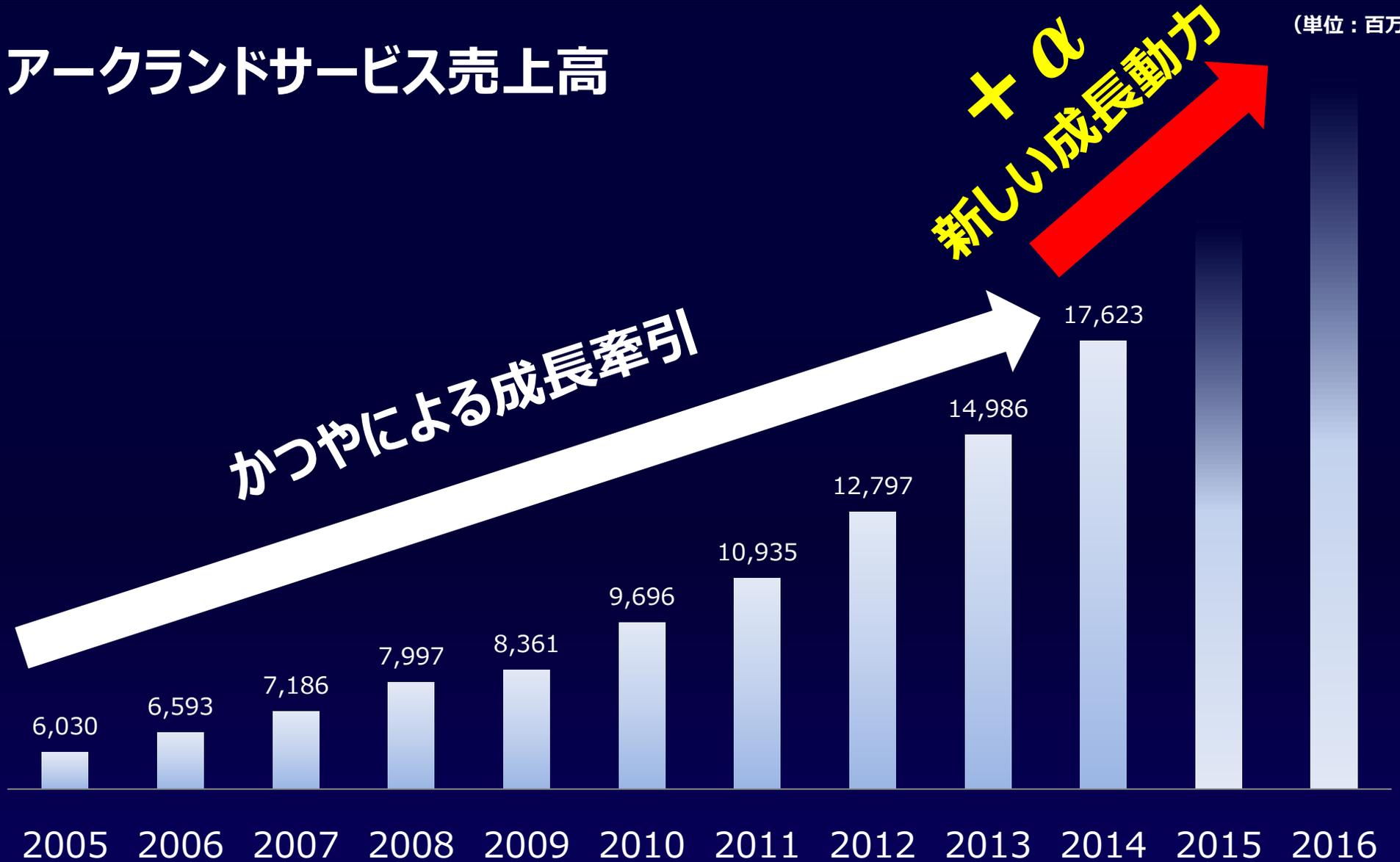
第一部 H26年12月期 決算概要

第二部 今後の事業展開と通期の業績予想

9期連続増収増益

アークランドサービス売上高

(単位：百万円)



H26年12月期 決算概要

既存店前年比

	直営店	F C店
売上高	101.5%	102.4%
客数	100.9%	102.4%
客単価	100.5%	100.0%

売上高の増減要因

(単位：百万円)



主要経費の増減要因

・売上原価率 **+2.5pt**

F C事業部門の構成比の増加

+1.6pt

食材卸売原価の上昇

+0.6pt

店舗原価の上昇

+0.3pt

・販管費率 **△1.7pt**

人件費率の低下

△1.1pt

賃借料等の固定費率の低下

△0.6pt

業績ハイライト

(単位：百万円)

	平成25年12月期		平成26年12月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期増減額	増減率
売上高	14,986	100.0%	17,623	100.0%	2,637	17.6%
売上原価	6,363	42.5%	7,929	45.0%	1,565	24.6%
売上総利益	8,622	57.5%	9,694	55.0%	1,071	12.4%
販管費	6,299	42.0%	7,101	40.3%	802	12.7%
営業利益	2,323	15.5%	2,592	14.7%	269	11.6%
経常利益	2,359	15.7%	2,624	14.9%	264	11.2%
当期純利益	1,353	9.0%	1,597	9.1%	244	18.1%

特別損益

(単位：百万円)

		平成25年12月期	平成26年12月期
		金額	金額
特別利益		5	122
	店舗譲渡益	—	93
	貸倒引当金戻入額	—	28
	その他	5	—
特別損失		151	86
	固定資産除却損	24	31
	店舗閉鎖損失	99	16
	減損損失	—	16
	F C加盟契約解除損	—	14
	貸倒引当金繰入額	28	—
	その他	—	6

貸借対照表

(単位：百万円)

	平成25年12月期	平成26年12月期	
	金額	金額	前期増減額
流動資産	5,687	10,190	4,503
固定資産	4,050	4,429	379
資産	9,737	14,620	4,882
流動負債	2,207	2,699	492
固定負債	714	809	95
純資産	6,815	11,110	4,295
負債純資産	9,737	14,620	4,882

キャッシュフロー

(単位：百万円)

	平成25年12月期	平成26年12月期	
	金額	金額	前期増減額
営業活動C/F	1,855	2,256	400
投資活動C/F	△ 926	△ 5,762	△ 4,835
財務活動C/F	△ 11	2,780	2,792
現金等増加額	922	△ 712	△ 1,634

増資資金の使途

資金調達額

29億31百万円

用途	金額
・国内直営店出店	5億87百万円
・国内直営店改装	1億35百万円
・アークダイニング出店	30百万円
・韓国での出店	74百万円
・関係会社への出資	86百万円
合計	9億15百万円

※2014年末現在

店舗数

業態別		平成25年 12月期	平成26年12月期			
		店舗数	出店数	店舗譲渡	閉店数	店舗数
かつや	国内直営店	103	8	△3	△1	107
	国内FC店	141	42	3	△1	185
	海外直営店	-	2	-	-	2
	海外FC店	3	5	-	-	8
かつや 計		247	57	0	△2	302
その他直営店		11	4	-	△1	14
全店 合計		258	61	0	△3	316

今後の事業展開

既存店対策

- ① かつやブランドの向上
- ② 業態拡張による売上最大化

既存店対策

割引チケット

キャンペーン

フェアメニュー

デリバリー

かつ弁

朝食営業

12/5(金)~12/7(日) 年末感謝祭
カツ弁(竹)
ロースカツ定食
カツカレー(竹)
ソースカツ丼(竹)
4品 500円(税込)



平均月商 (万円)

2007年	670
2008年	678
2009年	678
2010年	700
2011年	707
2012年	722
2013年	762
2014年	775

既存店対策

2014年

平均月商775万円

デリバリー
98店舗

かつ丼
82店舗

朝食
104店舗

店内

テイクアウト

+α 改善の余地あり

- ・教育研修システムの拡充
- ・価値あるフェア商品の開発
- ・既存商品のブラッシュアップ
- ・安心・安全な商品の提供



ブランドの向上



既存店対策

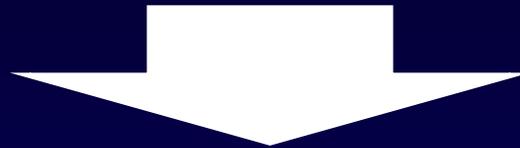
- ① かつやブランドの向上
- ② 業態拡張による売上最大化

業態拡張による売上最大化(朝食営業)

朝食営業時間帯売上高前年比

8月	9月	10月	11月	12月
128%	122%	120%	128%	130%

2013年8月から本格的に展開、現在も続伸中

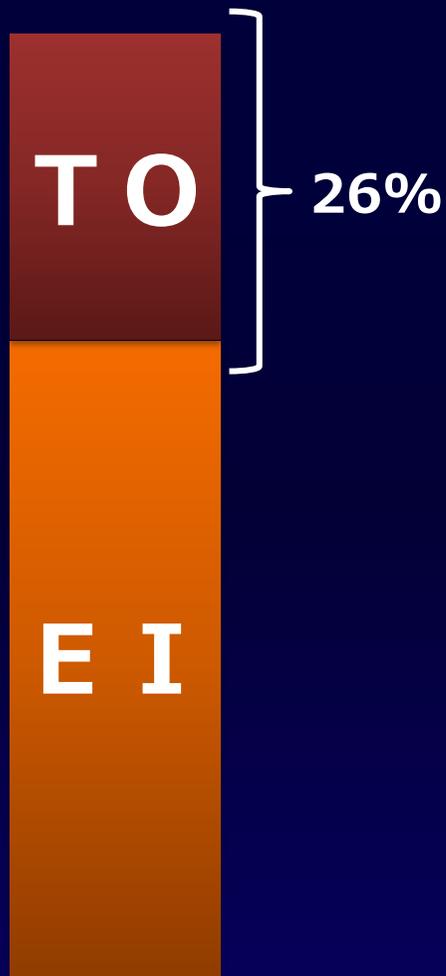


一気にF C店へ拡大

業態拡張による売上最大化(かつ弁)

かつ弁未併設

かつ弁併設



2013年度末 25店舗
2014年度末 82店舗



2015年度末
130店舗

店舗拡大への取組

① 中京地区での直営店出店を強化



② F C企業とのコミュニケーション密度向上
物件開発力の向上



③ F Cの出店が加速し地域が活性化

店舗拡大への取組



旧かつや新橋店(20席)

リロケート後
売上20%増



新かつや新橋店(67席)



業態転換



2015.2
「からやま」に業態転換(予定)

かつや国内出店計画

- 直営 8店舗
- F C 42店舗
- 合計 50店舗

新しい成長動力の獲得へ

① 海外かつや事業

② かつや以外の業態開発・育成

新しい成長動力の獲得へ

	2014年度末	2015年度計画
・韓国	2 店舗	海外かつや 25 店舗体制へ
・香港	5 店舗	
・タイ	3 店舗	
・他	-	

新しい成長動力の獲得へ

	2014年度末	2015年度計画
・チエント	5 店舗	かつや以外の業態 25 店舗体制へ
・あきば	3 店舗	
・岡むら屋	2 店舗	
・からやま	1 店舗	
・他	3 店舗	

2015年業績予想

売上高 210億円
(119.2%)

経常利益 28.0億円
(106.7%)

純利益 16.2億円
(101.4%)

本資料に関するお問合せ

本資料を作成するに当たっては正確性を期すため慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

アークランドサービス株式会社

管理本部

T E L : 03-5217-1531

E - m a i l : ir@arclandservice.co.jp